

		前月比
男	225,429人	112人増
女	210,453人	365人増
合計	435,882人	477人増
世帯数	127,216世帯	104世帯減
<small>(国勢調査(50年10月1日)に基づく推計人口)</small>		

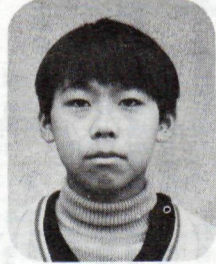
発行 船橋市役所 編集 企画部広報公聴課  
 所在地 〒273 船橋市湊町2丁目10番25号  
 電話 0474⑩1151(代)  
 (昭和25年10月24日第3種郵便物認可1日・15日  
 発行1部10円)



## 交通ルールを守って 事故のないまちに



自転車に乗る人もスピードはひかえめに



そえ まつ ゆずる  
副松 稜  
51年度児童生徒記者  
(古和釜小学校)

### 自転車に乗る人も 右折や左折の合図を

ぼくが自転車に乗り、発進しようと右手を出した時だった。とつ然オートバイが気がいのように走ってきた。その運転手は、ぼくの合図を見ていなかった。ぼくの横すれすれの所を通っていった。もう少しでケガをするところだった。

「危ない乗り方をするなあ」と思った自動車も同じだ。自動車を運転する人は、ぼくたちが出す合図をきちんと見てほしい。それに歩行者は、自転車だからといって急に前へ飛びだしたりしないように。自転車でもぶつかれば大ケガをする。ぼくたち自転車に乗る人は、自動車歩行者に気をつけ、発進や右折、左折などの合図を必ず出すようにする。自動車を運転する人は、歩行者、自転車の合図をよく見る。そして歩行者は飛び出したりしない。このように、みんなが交通ルールを守り、事故のない、人々が幸せにくらせるような町にしていかなければならない。

## 春の交通安全運動

4月6日～15日まで

○：4月は、お母さんにまつわりついていたお子さんが、新しいランドセルを背負って学校へ出かけるようになります。  
 運転者は、子どもの多い学校や公園などのまわりでは特に注意しましょう。歩行者も、道路を斜めに渡ろうとしたり、車と車のあいだをすりぬけようとして、うまく通り抜けられたと思った途端に反対側から走ってきた車にぶつかるといふケースがよくあります。  
 道路を横切るときには必ず右を見て、左もよく見て安全を確かめてから：という、基本的なルールを守る習慣をつけましょう。  
 この期間中の重点目標  
 □安全を確かめよう運動の普及  
 □歩行者と自転車の事故防止

- シートベルト着用用の推進
- 夜間の交通事故防止
- ゆっくり走り走ろう運動の定着化
- ：ことしになって船橋警察署管内で6件の死亡事故(昨年は11件)が起きています。事故の原因は、安全運転義務違反、スピードの出し過ぎ、飲酒運転の順になっています。運転者のマナーの向上が望まれます。

### 広報紙が8ページに

市広報は、毎月1日、15日の2回、タブロイド版4ページで発行していましたが、この4月から毎月1日号(今号は議会速報のため5日発行)は、8ページになります。これは、増加する情報を市民のみなさんによりわかりやすくお知らせしていくためです。

春の交通安全運動……	1面
52年度予算の概要……	2・3面
市制40周年船橋のあゆみ……	4・5面
広報ふなばしが400号に	
光化学スモッグの監視相談案内……	6面
お知らせ……	7面
ナシと赤星病話……	8面
ふなばしの民話	

おもな内容

